

モニタリング結果報告書

施設 七沢森林公園
指定管理者 公益財団法人神奈川県公園協会
施設所管課 厚木土木事務所

(平成 23 年度 下半期)

管理運営状況総括

1 今期の指定管理者の管理運営状況（2～10の結果を踏まえ、判定してください）

A

<判定理由>

公園の魅力向上のため、落葉掻き等のヤマビル対策、伐採木の有効活用、地域と連携した取組みなど、提案を上回る取組みを実施し、広報活動などにも積極的に取り組んでいる。

また、今期は利用者数が前年対比で8%増加していること、経費の節減等により、良好な収支状況であること、利用者満足度調査結果や苦情の対応状況も問題ないことからA判定とした。

A：提案を上回る取組みを実施し、極めて良好な管理運営状況である。

B：提案どおりに取組みを実施し、良好な管理運営状況である。

C：提案どおりに取組みを実施したが、管理運営状況については、一部工夫が必要な面がある。

D：提案どおりに取組みを実施していない。また、提案どおりに取組みを実施したが、管理運営状況については、抜本的な改善が必要である。

2 月例報告書によるモニタリングの概況

報告月	受理日	確認通知日	確認方法			指導等の有無	備考（指導事項等）
			月報確認	現場確認	電話確認		
10月	11/10	11/26	○	○	○	なし	
11月	12/10	12/26	○	○	○	なし	
12月	1/10	1/26	○	○	○	なし	
1月	2/10	2/26	○	○	○	なし	
2月	3/10	3/26	○	○	○	なし	
3月	4/10	4/27	○	○	○	なし	

3 指定管理者が提案した取組み等の実施状況

（指定管理者の選定に際して、サービスの向上や利用促進の観点から提案された各取組み等について、提案内容の要旨とそれに対応する形で実績又は今後の見込みを記載する。）

<提案内容の概要>

- ① 県民に潤いと安らぎを与える安全安心で快適な公園づくりにつとめます。
- ② 特性と課題を踏まえた維持管理を実施します。
- ③ 利用促進事業の充実
- ④ 地域や関係機関との連携強化につとめます。

<実施状況>

- ① 七沢森林公園での最大の課題であるヤマビル被害を減らすため、木酢液の散布を行うとともに落ち葉収集や除草を徹底した結果、吸血による被害者は、22年度下半期40人に対し、23年度下半期は5人となり、大幅に減らすことができた。
- ② 循環型管理を実施するため、枝葉や落ち葉の堆肥化、伐採木の木炭化を進め、木炭を4,800kg、木酢液を6700生産し、園内で活用した。
- ③ 11月には地元七沢観光協会と共催で「森のまつり」を開催し、また、12月には厚木市観光協会と共催でクリスマスイルミネーションを実施し好評を博した。
- ④ 公園で活動しているボランティアグループや森の民話館の利用者などを対象に「七沢森林公園管理運営会議」を開催し、県が公園再整備計画で検討している森林整備や森の民話館の改修計画について意見や要望を聞いた。

4 収支状況（単位：千円）注：千円未満を切捨てているため、合計は一致しません。

	収 入 額				支出額	収支差額
	収入合計	指定管理料	利用料金	その他収入		
年間予算額 今期 (前期)	78,720 (77,250)	74,220 (73,000)	0 (0)	4,500 (4,250)	78,720 (77,250)	0 (0)
下半期予算 額	37,674	36,474	0	1,200	37,674	0
10月	5,884	5,347	0	537	5,533	351
11月	6,772	6,212	0	560	6,544	228
12月	7,926	7,926	0	0	10,376	△2,450
1月	5,532	5,532	0	0	5,463	69
2月	4,988	4,988	0	0	5,455	△467
3月	6,469	6,469	0	0	6,737	△268
今年度 半期計	37,572	36,474	0	1,098	40,110	△2,538
前年度 同期計	35,876	34,834	0	1,042	38,670	△2,794

- 1 指定管理者の収入を記載する（県の収入である「使用料」は含まない）。
 2 「その他収入」は、都市公園の駐車場収入、雑収入、寄付金収入など指定管理料と利用料金以外のすべての収入を記載する。

収支状況に関する意見等

- ①年間予算額における収支差額が0でない場合は、その理由を記載する。
 ②今年度半期計欄の収支差額が、収入合計又は支出額のうち低い方の額の1割以上プラス又はマイナスとなっている場合は、その理由を分析し詳細に記載するとともに、必要な場合は、対応策も併せて記載する。また、収支差額に1割以上プラスが生じた主な理由が、人件費の削減である場合は、年度協定における人員配置計画と比較し、合理性が認められるか否かを記載する。
 ③今年度半期計における収入額又は支出額が前年度対比30%以上プラス又は、マイナスとなっている場合は、理由を分析し、詳細に記載する。

<意見等>

①～③ 該当なし

<参考>

本施設について県が支出した（する）修繕費等

30万円以上の修繕費等については、県が支出することと基本協定で定めている。施設の状況をよりの確に把握するため、県が支出した修繕費等についても参考に記載している。

- 1 県が支出した施設の修繕費等の金額及び工事内容を記載する。
- 2 「金額」欄は、半期ごとの総額を記載し、「工事箇所・内容」欄には、主な工事とその金額をカッコ書きで記載する。

	金額	工事箇所・内容
上半期	498 千円	公園北側に設置している上水道設備機器の補修(498 千円)
下半期	1,684 千円	寸草亭裏の園路復旧工(970 千円) 森のかけはし横の排水対策工(714 千円)
総額	2,182 千円	

(今期に行った資本的な収入及び支出等の状況)

⇒該当なし

	内容	金額(千円)
収入の状況		
支出の状況		
積立等の状況		(期首)
		(期末)

収入の状況：定期預金の取り崩し、借入れによる収入があった場合等は、その旨を必ず記載する。
支出の状況：車両の購入、施設の増改築、また定期預金の積み立てを支出に含めた場合等は、その内容を必ず記載する。

積立等の状況：積立・借入れ等がある場合は、その内容（施設の増改築のための積立・借入れ、定期預金等）、当該期首及び期末の金額を必ず記載する。

5 利用状況

	利用者数	前年同月利用者数	前年対比増減率
10月	25,590人	19,559人	30.8%
11月	45,238人	45,362人	△0.3%
12月	16,672人	17,559人	△5.1%
1月	16,393人	16,645人	△1.5%
2月	16,857人	15,009人	12.3%
3月	18,939人	15,177人	24.8%

	目標利用者数	利用者数	前年同月利用者数	目標対比増減率	前年対比増減率
今年度上半期計	無し	133,487人	128,320人	---%	4.0%
今年度下半期計	無し	139,689人	129,311人	---%	8.0%

利用状況に関する意見等

①今年度上（下）半期計の前年対比増減率が、1割以上プラス又はマイナスとなっている場合は、その理由及び対応策を分析し記載する。（特に、理由の記載にあたっては、各月の状況を分析し、わかりやすく具体的に記載する。）

②目標利用者数を下回った場合は、その理由を記載する。

なお、目標利用者数を定めていない場合は、未記入もやむを得ないが、次回以降は記入する。

<意見等>

①② 該当なし

6 苦情・要望等の状況

受付件数（うち施設所管課受付分）

下半期報告	口頭		文書			合計
	対面	電話	手紙	メール	アンケート	
合計	0 (0)	1 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	1 (0)

7 特筆すべき苦情・要望等及び対応状況

類似の苦情や要望が多く寄せられたもの、苦情や要望をもとに対応した取組みが利用者に評価されたもの、苦情や要望のうち対応したいと考えるが、諸般の事情により対応できないものなど、特に注意すべき場合に記載する。

分野	概要	対応状況
施設・設備	・隣接する住宅より「住宅上部の伐採木が不安定な状態であり、住宅に落下しそうである。処理して欲しい。」との要望があった。	厚木土木事務所に対応を依頼し、伐採木の処理がなされた。
	・	
	・	
職員対応	・	
	・	
	・	
事業内容	・	
	・	
	・	
その他	・	
	・	

8 事故や不祥事等の発生状況

利用者や職員が死傷した場合、業務の実施において法令違反等による指導や処分を受けた場合及び個人情報や公金の管理等において不適切な取扱い等があった場合は、その概要と対応状況を記載する。なお、利用者の死亡事故や個人情報の流出等、重大な事故や不祥事が発生した場合は、県庁改革課に任意の様式により速やかに報告書を提出する。

⇒該当なし

発生日	事故の概要	指定管理者の対応状況	原因・問題点 (指定管理者の課題を含む)
月 日			
月 日			
月 日			

9 随時モニタリングの実施状況

〔 事故や不祥事の発生等に伴い、施設所管課が随時モニタリングを実施した場合は、調査内容や結果を記載する。 〕

⇒該当なし

実施日 (事故発生日)	対応者等	経緯・調査内容	調査結果(指定管理者の課題の有無等を含む)
月 日 (月 日)			
月 日 (月 日)			

10 下半期の所見等

〔 2～9の各項目の状況等を踏まえ、指定管理業務をより効果的・効率的に推進する観点から、反省点や改善策等を記載する。 〕

指定管理者	<p>昨年9月の台風15号は、公園の森林や施設に大きな被害をもたらしたが、翌日から直営で園路に倒れて通行の妨げになっている木をほとんど撤去し、崩落した園路や破損した一部のアスレチック遊具以外は数日で利用できるように復旧することができた。</p> <p>また、数百本にのぼる風倒木や園路、遊具の復旧については、土木事務所と現地で立ち会いを行い、軽微なもの以外はすべて土木事務所に対応してもらうことになり、年度末にはほぼすべての災害復旧工事が終了した。</p> <p>その他、ヤマビル被害を減らすために落ち葉掻きを行うとともに、落葉を堆肥化するなど、循環型管理を実施した。</p>
施設所管課	<p>日常の安全管理及び巡視が行き届いており、来園者の満足度調査では、90%以上が良いと回答している。</p> <p>台風等による公園施設の被害に対しては、当課と協力して、安全対策や補修工事を行い、早期復旧を実現した。</p> <p>ヤマビルの駆除については、落ち葉掻きや木酢液の散布等の対策に努力し、被害軽減に繋がっている。</p> <p>また、落ち葉の堆肥化、木炭や木酢液など伐採木の有効活用などに意欲的に取り組むとともに、地域と連携したイベント開催を企画し、実行している。</p> <p>今後も継続して、魅力的な公園づくりを行い、満足度の高い公園として、来園者増加につなげて欲しい。</p>